

令和8年度 学校評価（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 「自分の可能性をきりひらく子を育てる」の視点から、個別教育計画を中心に据えた各部門課程における個々の児童生徒の教育活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①アセスメントを反映して作成した個別教育計画に基づき、指導実践の工夫と充実を図る。 ②ICT 活用の幅を拡げて、より効果的な活用方法を模索して、個々の児童生徒の状況に応じた学習活動の充実につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①チームとして組織的に授業改善に取り組む仕組みと流れを整える。 ②各部署で新しい機器やアプリ、活用法等の情報収集を継続して行う。また部門内や学校全体で活用事例の共有をすすめ、各職員の積極的な活用への意識向上をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業改善を組織的に取り組む仕組みと流れを整えられたか。 ②情報の収集と活用方法のアップデートを学校全体で積極的に行えたか。また活用事例の共有を広く行い、各職員の積極的な活用への意識向上を図ることはできたか。
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 「自分の可能性をきりひらく子を育てる」の視点から、すこやかにしなやかにたくましく生きる力の育成を組織的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①主体的な学びを引き出す指導・支援の手立てを組織的に検討して、よりよい実践につなげる。 ②児童生徒が自ら、健康や安全について意識できる指導をチームで計画的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①主体的な学びを引き出す指導の視点で、日常のかつ計画的に手立ての検証をチームで行い、次につながる流れを確立する。 ②健康教育、安全教育の視点の指導を年間指導計画等に位置付けて計画的に行い、自分自身の健康、安全を意識できる取組につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①主体的な学びを引き出す指導の取組をチームで日常のかつ計画的に検証して、次につながる流れを整えられたか。 ②健康教育、安全教育の視点を取り入れた指導を計画的に行えたか。また児童生徒の意識の向上につなげられたか。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 「自分の可能性をきりひらく子を育てる」の視点から、小中高と一貫した進路指導・支援の充実と個別最適な進路学習を実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①小中高の各年代の児童生徒が、個々の目標に応じて意欲的に活動に取り組み、達成感を持てる指導を行う。 ②保護者のニーズに応じた情報発信を行うと共に、保護者・地域・事業所等と連携して、個々の段階に応じた社会参加に向けた取組を広げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自己選択の機会を大切にして活動の意欲に繋げ、達成感が自信に繋がる指導に取り組む。 ②児童生徒の年齢に応じた進路に関する保護者のニーズ把握を丁寧に行い必要な情報共有を行い、保護者・地域・事業所等と連携した社会参加に繋がる取組を模索する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自己選択を活動の意欲に繋げ、達成感と自信に繋がる指導の取り組みの積み重ねができたか。 ②児童生徒の年齢に応じた保護者のニーズの把握と必要な情報の共有ができたか。また、保護者・地域・事業所等と連携した社会参加に繋がる取組を進められたか

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 「児童生徒を地域のフロントへ」の視点から、従前のセンター的機能を礎として、地域の学校、教育行政、地域資源等の連携・協働により、児童生徒が地域の中で暮らす力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域や関係の諸学校等との交流及び協働学習、地域資源を活用した学習について、取組の拡充と新規の取組の拡大を図る。 ②市内小中学校職員と学び合える機会の拡充を図り、より多くの職員が関わり、幅広い視点でセンター的機能の充実につながる取組を拡げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①年間計画に位置付けて積極的な取組を継続すると共に、校内および地域への発信や学びの場の情報収集を進めて新たな取組の開拓に繋げる。 ②小中学校教員体験会受け入れの積極的な発信、地域の学習会への参加の促進、地域への出前授業等の新規取組を行い、より多くの職員が地域と関わる機会を拡げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①交流活動を年間計画に位置付けて継続的な取組が行えたか。また、校内および地域への発信を積極的に行い、学びの場の情報収集と新たな取組の開拓が行えたか。 ②小中学校教員体験会受け入れや地域の学習会への参加を増やすことができたか。また地域への出前授業等が実施できたか。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 安全で安心な教育環境の整備をさらに推進するとともに、緊急時、災害時の対策を整備する。 教育活動の充実化のために、より働きやすい職場環境の整備を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①身近な学校環境から災害時の対応まで、起こり得るリスクの想定を共有して対策・対応を講ずる。 ②AIを積極的に活用して業務の効率化をすすめると共に、データや物品の整理や破棄などを行い、業務の行いやすい環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各部署でリスクの想定を上げた検討を適宜行い、マニュアルや研修等を通して共有する。必要に応じて外部機関との連携を強化する。 ②AIの活用事例を広く共有して、学校業務全般について効率化に繋がる方法を模索する。また、各部署で、使いやすい環境の視点でデータ・物品の整理を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各部署でリスクの想定を上げた検討を行い、マニュアルや研修等を通して共有が図れたか。また、必要に応じた外部機関との連携が行えたか。 ②AIの活用事例の共有を行い、業務の効率化の工夫をすすめることができたか。また、各部署で、データ・物品の整理を行い業務改善につながることができたか。